

連続講座



NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」
出演の畠山重篤さん

東日本大震災の津波で、畠山の養殖場は壊滅的な被害を受けた。中でも、畠山の養殖にとって命ともいえる舞根（もうね）湾の海中には、瓦礫や泥が降り積もった。そうした状況にもかかわらず、畠山は、養殖を再開させることを決めた。根底には、半世紀にわたり海と共に生きてきた男の「海を、信じる」という信念がある。

畠山は、23年にわたり、2万本以上の木を植えてきた。本業の時間を割いて植樹を続けるのは、手間がかかる。さらに効果が現れるのは、50年後、100年後の可能性もある。そこまで考えた上で継続することのできる“優しさ”。その人間性が、カキの味に凝縮され、映るのだという。「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」より

その1 牡蠣の海と森からの声

講師 畠山重篤氏

1943年生まれ。広葉樹の木を植えて、牡蠣の海と森を再生しよう！地元の木で被災からの再建を手作りしよう！津波の被災地となった西舞根の海辺に住み続け、本当の復興とは何か、海と森の回復と、国産材使用の重要性を訴え続ける。『森は海の恋人』著作「カキじいさんのつぶやき」ブログ

日時：2012年 2月19日(日)
午後2時～4時
会場：東京四ツ谷駅前
ニコラ・バレ修道院 9階
入場料：1000円

その2 原発問題と熱帯雨林

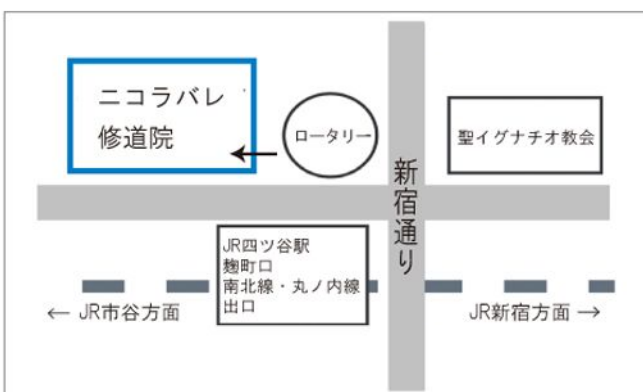
講師 清水靖子

“地球温暖化キャンペーン”による、「CO2を出さない原発はエコ！」宣伝は、日本の原発政策の口実に使われて今に至る。同キャンペーンは、また「熱帯雨林からの油ヤシ・プランテーション化はエコ！」という“炭素貿易”のまやかashiで、パプアニューギニアでの2010年の森林伐採量を過去最大にさせた。欺瞞に満ちた上記のキャンペーンを検証する。

日本政府による放射性廃棄物海洋投棄計画に1980年以来反対し、太平洋住民とともに、同計画を中止に追い込む。「森は海の恋人」に触発されて、『森と魚と激戦地』を著作。



日時：2012年 2月26日(日)
午後2時～4時
会場：東京四ツ谷駅前
ニコラ・バレ修道院 9階
入場料：1000円



主催：パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会
協賛：(株)河合工務店 TEL 03-3362-6492
辻垣建築設計事務所 TEL 03-3492-4245

会場 ニコラ・バレ修道院

東京都千代田区六番町14-4 電話03-3261-0825
JR四ツ谷駅麴町口下車徒歩30秒
地下鉄丸の内線四ツ谷駅下車徒歩3分

お問い合わせ：
東京都品川区西五反田8-10-14 トーピア五反田206
辻垣建築設計事務所 TEL 03-3492-4245